



令和元年度総会と新入会員歓迎会のご報告

副会長 浅川 英則 (久病院)



浅川氏

4月末から史上最長の大規模連休(連休ではない人も多かったような)と平成から令和への大きな時代の転機を経て、皆様も例年とは少し違った心境で新年度を迎えられているのではないのでしょうか。

さて、このたびは6月1日に行われました(一社)高知県作業療法士会の総会と新入会員歓迎会について報告させていただきます。まず総会では、例年通り事業報告と決算報告、事業計画と予算報告へと進みました。今年度のキーワードは大きく三つ、いや四つ(絞り難い)あり、地域包括ケアシステム(精神保健福祉や発達領域、就労支援も)、臨床実習指導者講習会の運用、情報発信の効率化、高知県作業療法学会の開催(初の幡多地区開催)を重点的に取り組んでいきたいと思えます。他にも事業はたくさんありますので、詳細は議案書にてご確認いただけたらと思います。

ところで、ここで余談ですが、今年の2月に参加した会議でスーツを着たところ、昨年新調したにもかかわらず上着のボタンが留まらないという悲しい出来事がありました。スーツをめったに着ないだけに、体型の変化をはっきりと自覚できる瞬間でもあります。そこから一念発起し、無理のない運動と糖質制限(野菜中心)を心がけています。当初86kgあった体重も現在73kgまで落ちましたが、夢の70kg切りを目指して引き続き取り組みます。4月の高知リハビリテーション専門職大学の開学式ではボタンが留まり、今回の総会ではゆとりさえ生まれ、スーツ一つでささやかな達成感に浸ったことでした。

次に新入会員歓迎会ですが、昨年より参加者も多く、毎度のことながらほぼ皆が自分の席にいないという、良く(たくさんの新たな交流が生まれた)も悪く(お料理に手が付いていない)も大変盛り上がった楽しい席となりました。

これからのOT業界の救世主となるであろう新卒者の皆さん(総会的一幕から引用)をはじめ、県外から転入された方や他の業種からUターンされた方など、新たに加わった個性豊かな仲間達と共に歩み始める貴重な一日となりました。

令和元年度も士会はこじゅんと精出して進んで参りますので、皆様には変わらぬご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



総会風景

広報編集部からのお知らせ

士会からの情報発信は、ペーパーレス化に向けてホームページへ積極的に掲載しております。広報編集部では、よさこいニュースへ掲載していた各部局の活動報告や研修会お知らせの記事をホームページの掲載へ移行しております。活動報告は、トップページの「活動報告」のバナーもしくは各部局のページより閲覧できます。今後は、他の記事も掲載していきますので、士会員の皆様は適宜ホームページの確認をお願いいたします。

士会ホームページアドレス:<https://kochiot.com/>



一般社団法人 高知県作業療法士会
会員数 757名(令和元年7月末現在)

施設紹介

訪問看護ステーションIAm

北山 進



右上 北山氏

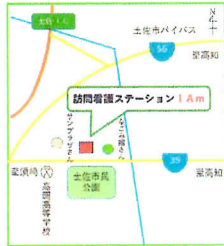
皆さん、こんにちは。「訪問看護ステーションIAm」は土佐市高岡町にあります。土佐市には石土ノ森や仁淀ブルーで有名な仁淀川などの豊かな自然があり、市街地には昔ながらの商店街や土佐市ドラゴン広場がありコミュニティが形成されています。

このような魅力いっぱいの町に事務所を構え、看護師4名、理学療法士3名、作業療法士2名、事務員1名が身体や精神に疾患のある方や内部疾患(心臓・腎臓・肺)のある方、難病の方とご家族に対し、身体面・環境面だけでなく精神面でのサポートも行います。

看護師は、食事や服薬、排泄等の体調管理を、既存の方法だけでなく、ポケットエコーの画像を用いて行います。また、近年になり内部疾患に対する有効性が注目されている有酸素運動を提供しています。

リハビリスタッフは、姿勢評価を基本とし、個別性のある運動療法や呼吸訓練を携帯心電計を用いて客観的な数値と照らし合わせながら行います。また、ADL訓練や福祉用具の提案、自助具作成を行うことで地域活動や趣味活動を継続して行える在宅生活をサポートしています。そして、それぞれの職種が持ち寄った情報を同じフロアで共有する連携方法も特徴の一つです。

今後は地域にリハビリテーション「全人的復権」の概念を定着させるため、病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、デイサービスなどの関係機関との連携を強化し、地域に貢献できるよう邁進してまいります。



バリアフリーなお店の紹介

広報編集部員 山本 浩明 (高知整形外科・脳外科病院)

今回、車椅子でも食事が可能なイタリアンのお店、オステリアビベールを紹介いたします。場所は帯屋町筋、清岡サンゴ店前の交差点を東に200mほど歩いた位置にあります。オープンテラスが目印のおしゃれな外観が印象的なお店です。入り口段差は3cmほどありますが、介助にて広い入り口部分から車椅子での出入りが可能です。また店内はバリアフリーとなっており、店内オープンテラス前のテーブルは車椅子でもゆとりのあるスペースが確保されています。トイレは障害者用トイレではなく、トイレ内までの通路がやや狭いですが、トイレ内に入れば車椅子でのトイレ動作が可能です。



左から2番目 山本氏

この日は旬の食材を使ったコース料理を堪能しました。全体的にはイタリアンをベースしながらも、和のテイストを混ぜ合わせた繊細なメニューが印象的です。私的には金目鯛のカルパッチョ、タコのフリットがおいしかったですね。タコのフリットは刻んだブラックオリーブの塩漬けと一緒に食べることで、絶妙な塩加減となり、あっさりおいしく食べることができます。そしてワイン等によく合います。イタリアンのお店ではありませんが、良心的値段でなおかつ、和食好きの方にも満足していただけると思います。皆さんも機会があればぜひ、オステリアビベールにて、おいしい食事と雰囲気を堪能してみてください。



オステリアビベール (OSTERIA BIBERE)
住所：高知市はりまや町2-5-1フロアはりまや町102
TEL：088-855-6265
営業時間：ランチ 11:30～14:30
 ディナー 18:00～23:00
定休日：火曜日 席数：30席

生涯教育部からのお知らせ

生涯教育部 部長 山崎 貴史 (いずみの病院)

士会員の皆様、協会ポータルサイトでの会員情報の登録はお済みでしょうか。会費納入後に協会から送られていた会員証は廃止され、2018年度からはポータルサイトで表示される電子会員証のみとなりました。今後、研修会では電子会員証が研修受講カードのいずれかの持参が必要です(手元にまだ届いていない方は会費納入領収書)。研修受講カードを用いたバーコードリーダーによる受付、および受講履歴の管理を当士会でも現職者研修で施行予定としています。手帳による受講履歴管理はなくなり、士会員がポータルサイトを活用し受講履歴の閲覧や各種申請などweb管理システムへ移行します。会員情報登録がまだの方は早急に登録をお願いします。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

広報編集部トピックス 事前取材

実行委員長 林邦行氏(リハビリテーション病院すこやかな杜)へ取材に行ってきました。

第2回地域作業療法研修会へ是非ご参加ください。

【日 時】令和元年8月31日(土) 13:30～17:00(受付開始13:00～)

9月 1日(日) 9:30～12:00(受付開始 9:00～)

【場 所】高知県立大学永国寺キャンパス 教育研修棟 A-101

Q 研修会はどのような内容ですか?

基調講演で講師をしていただく谷川氏(有限会社なご)は、訪問事業や通所事業等の代表を務め、地域ケア会議のアドバイザーもされるなど地域でも活躍されている方です。また、地域での関わりについてだけでなく、活動・参加の視点でのアプローチについても、講演していただきます。2日目は高知の現状の報告があり、特別講演ではもともと医療領域で仕事をされていて、今は地域で活躍されている細川氏(地域密着型通所介護 志さんのデイサービス)に講師をしていただきます。今一度、病院から地域へと繋げていくために、病院の作業療法と地域の作業療法において必要なことについて講演していただきます。

Q 参加者、そして参加を迷われている方へのメッセージをお願いします。

皆さんの中には、「地域や地域包括ケアシステムは小難しい」、「自分たちに縁のないもの」と思っている方もおられるかと思います。生活を支えるための作業療法には、病院の作業療法と地域の作業療法が、「生活で困ることを解決する」という一貫性を持つことが必要です。今回の研修会に参加することで、専門職として今やっていることが、その方の今後の生活や人生に役立っているか、もしくはそのためにはどうしたらよいかなど、講演を通して学んでいただけたらと思います。「自分の家族がそこで安心して生活できるような地域でありたい」という視点を持って、もっと作業療法士として考えることのできる研修会になると思います。

地域での作業療法とは、「小難しい」、「縁のないもの」ではありません。皆さんはその大事な一端を担っています。是非、今回の第2回地域作業療法研修会にご参加ください。

※士会ホームページ上へ掲載している記事より、一部抜粋して掲載しております。他のインタビュー記事も林氏の気持ちのこもった内容になっております。士会ホームページよりぜひともご覧ください。

(広報編集部員:森、田上、村井)